

事業名：江別消費者まつり補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	01 安全な暮らしの確保								
基本事業	05 消費生活の安定								
開始年度	平成24年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
消費者まつり実行委員会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別消費者まつり実行委員会が主催する「消費者まつり」の事業費の一部を補助する。 【根拠条例等】江別市商工労働関係事業補助金交付規則	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
江別市民の消費生活に役立つ基礎知識等を情報提供啓発し、その安定・充実を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	実行委員会構成団体数	団体	0	2	2	2
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	0	500	350	350
活動指標2						
成果指標1	江別消費者まつり来場者数	人	0	800	177	150
成果指標2	参加団体数	団体	0	7	2	—
事業費(A)		千円	0	500	350	350
正職員人件費(B)		千円	0	2,004	1,953	1,956
総事業費(A+B)		千円	0	2,504	2,303	2,306

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	消費者まつり実行委員会が主催する、「消費者まつり」の事業費の一部を補助する。	補助金 350千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
消費者保護法制改正に伴う消費者自立支援の機運	
事業を取り巻く環境変化	
消費の多様化 社会の成熟化がもたらす物質的多様化は、消費者の選択肢を広げる結果となった。しかし、過度な多様化は消費者の混乱を招くことにもつながる。現代の消費者には、様々な情報を主体的に取捨選択する能力が求められている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
江別市は、市民消費生活安定条例を制定し経済的又は社会的状況に応じた消費者の保護に関する施策を実施、策定するよう努めている。当事業は、その一環として消費者への消費関連情報提供を「まつり」の形で提示するものである。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
消費関連情報の多様化は、消費者教育を困難なものにしている。こうした状況を踏まえ、イベント的に情報を提供する方法は、市民の興味を励起し理解を容易にすることから有効であると考えます。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
毎年度多数の市民に対し消費者教育の啓発を計る意義は大きい。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
本来は市民消費者の自主的なまとまりが「まつり」として結実すべきである。そうした意味では、長期的に市民の意識向上を提起する必要がある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
協賛企業の協力などで経費削減に努めているが、これ以上のコスト削減は難しい。	